

奎人の会「2014年木造設計塾Ⅲ」入塾案内

「奎人の会」が目指すことは、住み手の希望に添って、造り手の創造性を生かした木造住宅を造ること、それを長く維持してゆくこと、その両方を実現できるような造り手の連携（パートナーシップ）を確立すること、この三つです。そのような連携が、住みよい住宅を提供し維持してゆく基礎だと考えています。木造住宅は技術だけでは、造ることも維持してゆくこともできません。住宅の住み手、造り手（職人集団・設計集団）、さらには林業の担い手、等々が一体で動く仕組みが必要です。

木造設計塾では、その仕組みの中の設計者像とはどのようなものなのか、協同の中でどのような専門性が必要になり、どのような責任が生じるのか、そこをテーマに考えてゆきたいと思っています。

日本の木造住宅の現場は、我々が考える「日本の木でつくる」という状況から、ますます離れてゆく事態になっています。法隆寺や平泉の寺院、白川郷や五箇山の集落が世界文化遺産に登録されていますが、それらの建物の木でつくる技術が現在の日本の住宅に生かされているわけでは、まったくありません。逆に、それらの技術を捨て続けてゆく中で木造住宅はつくられています。捨て続けている技術を実現している文化遺産とはいったい何の意味を持つのか、われわれの住宅をつくる技術とはどのようなものなのか、疑問は付きません。

日本の木造の技術を、つくる立場で分析し、計算し、新しく工夫し、それらを現在の状況のなかでどのように使ってゆくのか、どこを目指してそれらを深化させてゆくのか、設計塾で考えてゆきたいと願っています。

前回の設計塾の講義を進化させ、さらに新たな講義を加えて、木造設計塾でしかできない環境を作りたいと思っています。

木造住宅の造り手を目指し、このような試みに興味があり、木造住宅の現場に自立した設計者として参加したいと考えている人たちの応募を願っています

●木造設計塾Ⅲのテーマ

- 1) 木造住宅づくりの基本である木構造の原理的な考え方を解説する
- 2) 木構造の講義で解説された基本的な認識を、具体的な設計作業の中でどのように実践するのかを、具体例で順を追って解説する。(新)
- 3) なぜ、そのような木造住宅造りをするのか、その意味を解説する。
- 4) 大工の視点から木構造や木の納まりを解説することによって、木に従うつくり方、設計方法を考える
- 5) さまざま視点から、当事者意識に基づく設計者像（大工像）を考える。

●講師

- ・植久哲男
- ・丹呉明恭 丹呉明恭建築設計事務所

- ・山辺豊彦 山辺構造設計事務所
- ・奎人の会会員

●教科書

- ①「渡り腮構法の住宅のつくり方」丹呉明恭+山辺豊彦 (建築技術)
※定価の80%で販売します
- ②「伏図・軸組図作成法と納まり一木の構造システムの設計法」
丹呉明恭+山辺豊彦 (奎人の会) 非売品

●期日

- ・2014年4月～2014年9月 6回 毎月第4土日に開催
- ・土曜日 1時限 15:00～16:30
2時限 16:40～18:10
懇親会 18:30～
- ・日曜日 1時限 9:00～10:30
2時限 10:40～12:10
3時限 13:00～15:00

※2015年の大工塾X(4月～12月) 予定に参加する

●会場

- ・大河原木材 埼玉県飯能市小岩井 259
- ・宿泊可(寝袋持参)

●募集人数 20人

●応募条件と応募方法

- ・応募条件:住宅の設計・監理・施工の実務経験1年以上
実務経験の種類は問わない
- ・応募方法:申込み用紙に必要事項を記入して事務局へ提出して下さい。
募集人数が多数の場合には選抜します。

●受講料

- ・設計塾受講料 80,000円(大工塾への参加費含む)
(構造実験・SS試験・中間処理場見学・林業家の話・室内環境・防耐火)
- ※大工塾既受講者は50,000円

●事務局

- ・協同組合[奎人の会]事務局
埼玉県東松山市松山 2339-3
Fax:0493-22-4038 Email:info@mokuzou-sekkei-j.net